

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館

知る人ぞ知る、 建物に隠れた福の字



▲2号館の5階付近の外壁をチェック!



▲1960年頃の型紙。東ねん斗文の中に隠れ裏・笠や宝袋、打出の小槌など宝尽くしの文が多数!

▲藍に鮮やかな朱が映える装幀デザイン「正月三ヶ日/川端康成」

〒仙台市青葉区国見1-8-1 ☎022-717-3318 開 10:00~16:30(入館は16:00まで)
休 日曜、祝日、11/22~26、12/23~1/9、1/12~14 入 一般300円、大学・専門学生200円

これからのイベント

10月3日(火)~2月1日(木)
芹沢銈介コレクション「インドネシア 島々の絆」
※同時開催「芹沢銈介の装幀本」
「芹沢長介収集品紹介—そば猪ロー—」
※12月23日から1月9日は休館



福島美術館

幸福を願う 福島家コレクション



▲東日本大震災の際倒れたけれど神棚から落ちなかった光雲作の観音像。転んでも「落ちない」観音様で合格祈願を!



▲中林梧竹筆「朱画遠藤」。ユーモラスな赤いだるまは見てのだけで心が和み、元気に



▲美術館のキャラクター「福じい」のオリジナルデザイン(紋ざり)

館名にも「福」がある福島美術館が収蔵する美術工芸品には、おめでたいものや幸福・子孫繁栄を願った題材のものがたくさんあります。新春吉例の企画展「めでた掛け」で展示される掛け軸や調度品をはじめ、近代の仏師・高村光雲作の「聖観音立像」など、幸福を個人所有でなく、多くの人と共有するために寄付された福島家のコレクションは必見です。また、館内には七福神の一人である布袋様をモチーフにした美術館のキャラクター「福じい」の紋切りが隠れています。7つ見つけたら、ラッキーセブン!ぜひ探してみてください。

〒仙台市若林区土樋288-2 ☎022-266-1535 開 9:00~16:30
休 月曜、第1日曜、祝日の翌日 入 常設展100円、企画展 一般400円、学生・70歳以上300円

これからのイベント

1月5日(金)~3月3日(土)
新春吉例「めでた掛け~美術館で笑い初め~」
※12月28日から1月3日は休館

仙台文学館

思い思いの おめでたい年賀状



▲年賀状は1月5日まで募集中。絵手紙や心に残っている本、おすすめの一冊などを書いてぜひ応募を



▲池で羽を休める白鷺の姿はとても美しいと学芸員も絶賛

2003年から恒例企画として実施されている「100万人の年賀状展」は、広く一般から年賀状を募集して、寄せられた作品を展示する企画。干支や縁起物などのイラスト、自作の詩や好きな作品の主人公へ宛てた手紙など個性的な年賀状が展示され、新春を華やかに彩ります。また、文学館から山原森林公園へ続く散策路では、運が良ければ野生動物の姿を見ることが出来ます。1~2月は見た人を幸せにするといわれる神聖な鳥・白鷺に出会えるかも!?

〒仙台市青葉区北根2-7-1 ☎022-271-3020 開 9:00~17:00(展示室入室は4:30まで)
休 月曜(祝日の場合は開館)、休日の翌平日、1~11月の第4木曜
入 一般460円、高校生230円、小・中学生110円

これからのイベント

12月16日(土)~4月8日(日)
企画展「井上ひさし資料特集展 Vol.7」
1月10日(水)~2月12日(月・祝)
新春ロビー展「100万人の年賀状展」
※12月28日から1月4日は休館



東北学院大学 博物館

人々の心に寄り添う あたたかな版画



▲美しい色刷りの版画は海外からも高い評価を得ています



▲土器に描かれた4つの顔がそれぞれ囁く思わずドキッとさせるイケてるセルフを聞いて「推しメン」に投票。彼氏・彼女ができるご利益があるかも?

今冬開催される学生主体の企画展では戦前の戦前の勝平得之の民俗版画と雪の民具を紹介。秋田出身の木版画家・勝平得之は秋田の自然・風俗を題材にした、あたたかみのある作風で親しまれてきました。展示では豊作祈願のまゆ玉や厄を流す風物詩などを描いた作品から、人々が「福」を求める心にふれることができます。また、ユニークな企画として収蔵品の「人面墨書土器」をピックアップしたイケメンならぬ「イケ・ドキ」をスタート。こちらも要チェックです。

〒仙台市青葉区土樋1-3-1 ☎022-264-6920 開 9:30~17:00
休 日曜、祝日、大学の定める休業日 入 一般200円

これからのイベント

11月25日(土)~3月31日(土)
企画展「勝平得之の民俗版画と雪の民具」
※12月29日から1月3日は休館

仙台市歴史民俗 資料館

仙台の伊達な 青いだるまさん



大きな輪が入っているのは、四方八方を見渡し、家内安全、子どもの健やかな成長を願うため



▲常設展示の囲炉裏がある部屋の棚上にもだるまさんが。昔は七転び八起きにあやかって8体並べている家庭も多くありました

だるまと言えば体が赤く塗られ、目は書き入れずに白いままという姿でお馴染みですが、仙台の松川だるまは青色で、初めから黒々とした瞳が書き入れられています。顔のまわりは武士が好んだ高貴な色・群青色で縁取られ、胴体に宝船や福の神が鎮座する華やかなだるまは、古くから庶民の縁起物として親しまれてきました。資料館内では仙台の柳生和紙を使い、戦前に使用されていたガラス目玉が入った貴重な3尺の松川だるまを展示。「福がありますように」と職人が心を込めて作った、迫力のだるまをご覧ください。

〒仙台市宮城野区五輪1-3-7 ☎022-295-3956 開 9:00~16:45(入館は16:15まで)
休 月曜(祝日の場合は翌日)、第4木曜 入 一般・大学生240円、高校生180円、小・中学生120円

これからのイベント

11月18日(土)~4月15日(日)
「Winter Life in Sendai—仙台の冬のくらし—」
※12月28日から1月4日は休館

東北大学 総合学術博物館

中国の身を守る貨幣、 日本の福を呼ぶ貨幣



▲中国の黄銅製まじない銭「山鬼雷符」(左・梅津八蔵寄贈)、江戸時代の楽銭「祇園寶船」(右・新沼哲夫寄贈)



▲館内のラッキー展示物で今年の運勢を占う「標本館おみくじ」。おみくじは1月限定の配布。※画像は2016年のおみくじです

博物館所蔵の旧金属博物館資料の貨幣「山鬼雷符」は中国の道教の雷除け。身を守り、幸運がおとずれる護身用のまじない銭として伝えられており、表に道教の厄除け呪文、裏に八卦が鑄込まれています。もう一つ珍しいものが、江戸時代の楽銭「祇園寶船」。楽銭とは神社の賽銭用に参拝者が購入したり、賭場でチップのように使われたりした貨幣のこと。裏に梅や松、天神が刻まれたおめでたい貨幣は一見の価値ありです!また、新春は学生とみちのく博物館楽団によるおみくじ企画を実施。運勢と展示資料の案内が描かれたおみくじで新年の運試しを!

〒仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 ☎022-795-6767 開 10:00~16:00
休 月曜(祝日の場合は翌平日) 入 一般・大学生150円、小・中学生80円

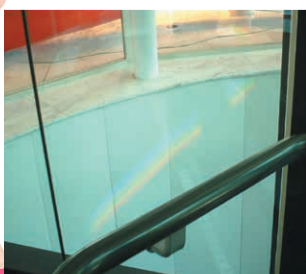
これからのイベント

2月14日(水)~4月15日(日)
企画展「県の石展」(仮称)
(スリーエム仙台市科学館にて)



せんだいメディアテーク

館内に現れる、幻想的な虹



緑が生い茂るケヤキ並木を映す、全面ガラス張りのシンボリックな建物のせんだいメディアテーク。お天気がいい日の午前中には、1階南側の休憩スペース付近に、美しい虹が現れます。天候と時間帯がマッチしたときにだけ見ることが出来る幻想的な虹を見ると、スタッフは幸せな気分になるそう。晴れた日にはぜひ足元を探してみてください。

〒仙台市青葉区春日町2-1 ☎022-713-3171 開 9:00~22:00 ※一部サービスは異なる
休 第4木曜(12月を除く) 入 館無料

これからのイベント

11月3日(金・祝)~12月24日(日)
コンニチハ技術トシテノ美術

ミュージアムスタッフ間でささやかれているラッキーアイテムを探せ!

せんだい3.11メモリアル交流館

レアな生き物を見つけてラッキー



正面入り口に展示してあるメダカの水槽の中に、交流館裏の用水路で捕まえたスジエビを2、3匹一緒に入れて飼育中。スジエビは体が透き通っていて見つけづらく、なかなかお目にかかれないレアキャラ。スタッフもエサやりの際に偶然スジエビを見かけると「お、今日はいいことあるかも…」という気分になるのだとか。

〒仙台市若林区荒井形85-4 地下鉄東西線荒井駅内 ☎022-390-9022
開 10:00~17:00 休 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌平日 入 見学無料

これからのイベント

11月7日(火)~1月28日(日)
企画展「仙台市宮城野区蒲生字町87」
※12月29日から1月4日は休館